

発行人 今村久美子

編集人 土屋和子

〒191-0041 日野市南平2-56-10 <http://www.angel-hino.com/>

Tel&Fax 042-583-1528

特定非営利活動法人市民サポートセンター日野 / 郵便振替番号 00180-0-612689

Link

Linkは、わたしたちのNPOが市民と市民、市民と行政、市民と事業者、市民と学校、子どもと大人といった様々な人たちをリンク(Link:つなぐ)することを、そして心と心をつなぐことを目指しています

「男女共同参画宣言都市」における 「NPO法人市民サポートセンター日野」の役割

理事長 今村久美子

NPO法人「市民サポートセンター日野」は、今年設立以来10年目を迎えます。

この間、大勢の方々から暖かいご理解とご支援を頂きながら、一年一年、全力を傾けて地域支援、地域貢献に取り組んでまいりました。おかげさまで現在は、地域に根ざしたNPOとして市民の皆様にも広く親しんで頂いております。心よりお礼を申し上げます。またNPOの前身である「日野市女性社会事業協会」は、市民の強い要望で設立された事、そして14年にわたって先輩たちが家族支援事業に励んで来られたことなど、その経緯と理念を忘れる事なく、10年という節目を迎える今、新たな責任と使命感を持って家族支援に取り組んでまいります。

日野市は、1998年9月に、やはり市民の要望を受けて「男女共同参画都市宣言」を行いました。この「都市宣言」は今年度は15年目という節目にあたっておりました。

「男女共同参画宣言都市」とは、市民に密接な行政を行っている市（区）・町・村が男女共同参画社会づくりを推進し、他市のモデルとなることを勧める、国の奨励事業で1994年にスタートしました。

日野市では1998年11月28日に、国との共催で記念式典を行い、宣言記念事業として故三木睦子氏（三木元首相夫人・当時国連婦人会会長）をお招きして「男女共同参画社会を考える」フォーラムを開催しました。

日野市の宣言文については、市民と市が一体となって、家庭、

職場、学校、地域などあらゆる分野で共に参画し、共に責任を分かち合い、自立した個人として多様な生き方が可能な地域の実現をめざすことを誓ったものです。

宣言のキーワードは「ともに 分かち合うまち」です。

私たちNPOは設立以来、日野市が「男女共同参画宣言都市」であることを念頭に置き、宣言都市ならではの責任ある活動を心がけてまいりました。今後とも、「ともに 分かち合うまち」日野市で活動するNPOとして、「支え合う、分かち合う、理解し合う、認め合う」を柱に全力で取り組んでまいります。

日野市男女共同参画都市宣言

わたしたちのまち日野市は
一人ひとりが男女平等のもとに
互いの個性と能力を尊重し
豊かに暮らせる社会をめざして
ここに男女共同参画都市を宣言します

- 1 互いに地域で支え合う 安心して暮らせるまちをめざします
- 1 家事・育児・介護・仕事を分かち合う 共同参画のまちをめざします
- 1 互いの生き方を理解し合う 自立と共生のまちをめざします
- 1 互いの人権を認め合う やさしい平和なまちをめざします

初心を忘れず進みたい

副理事長 早川裕子

「市民サポートセンター日野」が日野市から巣立って10年目を迎えたこと聞き、ヨチヨチ歩きだった設立当初を思い出して感慨無量です。当時の副市長河内氏から「早く独立しなさい」と背中を押されて夢中で歩きだしたものの、不安を抱えた手さぐりの日々でした。幸い2人の大変有能な事務局長に続いて恵まれ、また日野市の関係職員の方々から一方ならぬお世話を受けてここまで育ってまいりました。

主力事業のファミサポは会員数が発足当初の1000人から5000人に増え、市内で頼られる存在になったことを実感できるようになりました。5年前からは「0歳児ステーションおむすび」や、保育園を廻って子どもたちのようすを見守り、気になる子に密着して保育を支える「そだちあい事業」を両方とも全国的にも先駆けて始め、軌道に乗って広がりを見せています。

3年前からはふれあい館の指定管理者としても汗を流しております。

発足時から自主事業として周辺市民に憩いの場を提供してきたCafe Greenがグループホームなどへの出張サービスをする「陽だまりカフェ」や、0～2歳児を持つお母さんの不安を和らげるため、訪問して手助けをする「ふれんどさん」など、新しい事業展開にも意欲的に取り組んでおります。

この間さまざまな難題にぶつかりましたが、その都度忌憚なく話し合い、みなさまのご助力を得ながらなんとか切り抜けて来ることができました。その根底にあるのは、当NPOの前身「女性社会事業協会」の「女性を応援しよう」という気持ちなのです。その心意気はずっと持ち続けたいと思っています。

「たのしそうなまち たのしいまち 日野」を目指して

日野市50年ビジョンプロジェクト意見交換会で市民サポートセンター日野は下記の資料を提出し、市長主催の交換会で発表しました。市長や参加者から多くの賛同を得て、その後さらに有意義な話し合いを進めています。

「50年後の日野?」と最初は戸惑ったプロジェクトでしたが、NPO事務局内で、話し合った「50年後の子育て支援と家族支援」は、今後の市民サポートセンター日野の今後の指針になるでしょう。

1 50年後の日野はどのようなまちになるのか?

NPOの活動から
見えてくる、
現在の日野の
子育て状況

予測

50年後

- ・世帯収入減
- ・核家族共働きのお母さんは育児と家事、仕事の両立に追われている。
- ・一方、3世代同居のお母さんは生活に余裕があり、仕事も充実
- ・離婚、シングルマザー、ファザーの増加
- ・核家族のお母さんは育児不安になる場合も
- ・親の精神不安→子の育ちに影響
- ・外遊びの量が子どもの育ちに影響。

- ・3世代同居、近居が増え、祖父母世代が子育てに参加。祖父母が介護と子育てが同時に。
- ・共働きは当然、祖父母も70歳まで就労
- ・車を持たない世帯の増加
- ・外国人が増え、国際結婚カップルも増える。
- ・空き家、空きマンションの増加



たのしいまち

- ・3世代が同居出来るまち
- ・自然が残されており、子どもを育てたい環境
- ・生活圏内で必需品が揃う
- ・保育園、学校がある(自分の出身校がある)
- ・ゆったりしている
- ・多様な文化を受け入れる
- ・自分の好きな交流の場、ほっとできる場がある
- ・コミュニティ活動=たのしめる活動



たのしくないまち

- ・空き家、空き店舗がいっぱいで歩いていても楽しくない
- ・少子化で学校や保育施設が少なく、遠い
- ・自然がなく、遊び場が少ない。緑がない
- ・コミュニティがなく、孤立した人が多い
- ・コミュニティ活動=めんどくさい、避けたい仕事

2 ☺ たのしいまち、たのしそうなまち、ひの

☺ たのしいまち ひのに
住んでいる人のイメージ

- ・3世代、4世代同居、近居などの複合家族
- ・環境、自然を楽しむ
- ・ノンブランド
- ・スローライフ志向
- ・ゆったりとしている
- ・家族以外のコミュニティを複数持っている



たのしいまちに必要なもの⇒多様なコミュニティ

場

- ・歩いていて楽しい
- ・ベンチとあずまや
- ・子どもの体力づくりのための公園
- ・市民農園
- ・高齢者と子どものふれあい

しかけ人

- ・より道カフェ
- ・あずまや守り
- ・マイノリティのための多様な相談員
- ・3世代同居の悩み相談員
- ・援農サポーター
- ・運動、あそびサポーター

多様なニーズに応じて
コミュニティを
コーディネートする

3 NPO市民サポートセンター日野が目指す家族支援・子育て支援の目標

長年培ったコーディネート力を活用し、行政と協働しながら、多様なニーズに応じたコミュニティを作る中間支援組織として活動する。

日野市民が従来から持っている自主・自律の精神を発揮できる、参加することがたのしい、プロセスを楽しめるような活動がたくさんあるまちにする。

そのような「たのしい」まちは傍らからみても「たのしそうな」まちであるに違いない。
結果として、そのようなまちに人が集まってくることを目標としたい。

各事業の紹介

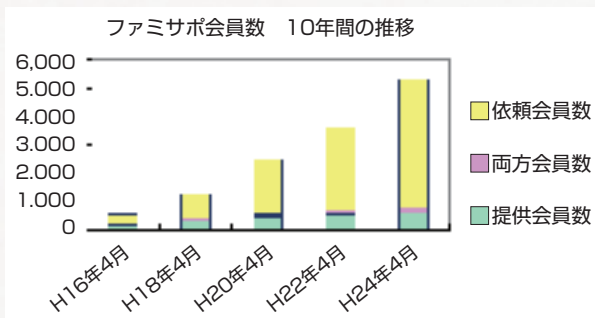
日野市ファミリー・サポート・センター事業 市民の相互援助活動を核としたまちづくりへ

「NPO法人市民サポートセンター日野」が、日野市からファミリーサポートセンターの事業を受託したのは「次世代育成支援対策推進法」が施行された2003年（平成15年）の翌年でした。以来、10年目にあたる今日まで、皆様のご理解やご協力のおかげで着実にその歩みを進めてこられたのではないかと考えています。

会員数も別表の通り、当初は1000名足らずでしたが、今では5000名を超えています。アドバイザーはファミサポの存在をより多くの市民に知ってもらうため、3・4ヶ月健康診断（日野市生活・保健センター）へ出向き、広報活動を行っています。また、保育援助を行う提供会員については年2回、保育講習会を開催し日野市の広報で募集をしています。市内を4つの学区に分け「地区サポー

ター」の呼称で提供会員のリーダーとして活躍をしていただく制度を実施しています。最近では学童期の子どもに対する活動にも力を入れて成果をあげています。

近年の傾向としては発達に配慮を要するお子さんへの援助や育児困難で悩む家族の支援が増えています。更に、新しい展開として本年4月から、ファミサポ事業とは別組織の自主事業「ふれんどさん」が始動し、本来のファミサポ事業と連携を取りながら活動を行っています。今後も積み重なった経験や関係する多くの人々のご協力を糧にともに歩んでまいりたいと思います。（長橋美保）



保育講習会で話合いの結果発表

ふれんどさん訪問事業

おかあさんといっしょの子育て・地域の仲間、ふれんどさん

ふれんどさんは、ファミリー・サポート・センターのアドバイザーと提供会員からの「ボランティアとして訪問し、困っているお母さんを助けてあげたい」の思いから生まれました。ふれんどさん訪問を希望する家庭に伺って、保育や家事をお母さんと一緒に行いながら、地域とつながるきっかけ作りのお手伝をいし、その後お母さんが一人でも楽しく子育てや家事が出来るようになっていただく事を目的としています。

平成23年度に行った養成講座は【1. 地域の子育てを支援する人 2. 子育てや家族を取り巻く現状についての知識を持っている人 3. 傾聴し共感できる人 4. 寄り添って協働できる人】を養成することを目的として研修し、20名の「ふれんどさん」が誕生しました。

これまでの半年間に家庭訪問事業としては、7件の依頼がありました。地域支援としての保育園訪問活動は、たまだいら、おおくぼ、たかはた、ひらやま、たかはた台、あさひがおか保育園の地域開放日に26件、延べふれんどさん数52人が保育園の地域支援のサポートを行って大変好評です。

また、11月7日に「第1回ふれんどさん会議」を開き、これ

までの活動を振り返り今後に向けての課題について話し合い、今後の方向性を確認しました。

今後の活動としては「家庭訪問事業の充実」と今まで以上に「地域支援としての保育園訪問」を活発に行い、地域のお母さんと直接触れ合い、広くふれんどさんを知っていただき訪問活動につなげていくことを目指します。（増井乙女）



オレンジ色のふれんどさんエプロンを着て、一緒に子育て

各事業の紹介

日野市一時保育0歳児ステーションおむすび ママ、パパ、赤ちゃんの育ちを支援して5周年

0歳児ステーションおむすびは、平成19年の6月に開所し、今年で5周年を迎えました。ママ達は通院や用事はもちろんのこと、美容院や、友人やパパとのランチ、習い事に行くためなど、様々な理由で利用されるようになり、おむすび卒業時には感謝の言葉をいただくようになりました。今年度は、利用者が延べで500人を超える勢いです。

一時保育終了後、保育中の写真を載せたおむすびカードをプレゼント。

スタッフはママたちから受ける育児についての疑問や相談などには丁寧に耳を傾け、それぞれの保育経験をもとにママ達に安心感を持っていただけるようお話をしています。他県から転居された利用者はある出来事から日野市に来たことを後悔したそうですが、おむすびがきっかけで日野市を好きになったと話されていました。

おむすびは一時保育の他、子育て力を引き出す「おやそだち講座」を開催しています。ママ達に好評だったわらべ唄

講座の発展として、2012年秋にパパとママと赤ちゃんが一緒に参加できる講座「スーパーダディ講座」を開催し、23組の親子と1組のプレママ、プレパパに、赤ちゃんとの交流の仕方について学んでいただきました。日頃、不満があっても言えないママの気持ちや感謝の気持ちを言えないパパの参加記念としてママとパパがお互いの気持ちをメッセージに表わしカードにして持ち帰っていただく企画はとても好評でした。

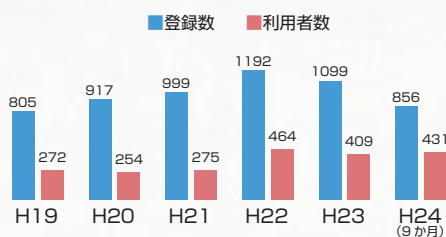
おむすびは、これからも、市民の方が楽しく子育て出来るように、子育て支援をがんばってまいります。よろしくお願い致します。

(桑名美雪)



スーパーダディ講座風景
永田陽子先生から赤ちゃんとの遊び方を習うパパ

おむすびの登録者・利用者数の推移



おむすび保育室風景 きょうは赤ちゃんを5人お預かりしています。

おむすびの日野市市民活動（NPO）活動支援補助事業のご紹介

おむすびでは開所以来、来所するお母さん、お父さんに応援メッセージを発信しています。

平成21年から24年にかけて、日野市市民活動（NPO）補助事業の交付金を受けて下記のメッセージを贈りました。



平成21年度
ひのママのらくらく子育て応援マップ／子育て応援お店ガイド
おむすび利用のお母さん達が編集した、お出かけマップ。高幡不動周辺の商店街のご協力もいただきました。



平成22年度
おむすびころりん知恵袋
0, 1, 2歳のお子さんを持つママ、パパ向けの赤ちゃんとのふれあいについての情報紙。いないいないばあと遊べる仕掛けになっています。



平成24年度
スーパーダディ講座
子どもにとって最高のパパになろう
子どもが思春期になったときがパパの出番です。ただし、それまでに関係性を作ることが大切。スーパーダディ講座はそんなパパを応援する講座です。

各事業の紹介

日野市子ども支援事業そだちあい 保育園児の発達を支援するそだちあい事務局

当NPO法人では日野市子ども支援事業そだちあいとして平成19年度から保育園を中心に巡回支援事業を受託し、市役所保育課との協働で主に公立保育園の保育士支援を展開してきました。巡回支援は、臨床心理士、臨床発達心理士など、心理を専門とする支援アドバイザーが保育園を訪問し、カンファレンスによって保育場面での問題点を解決するという内容で、当NPO法人がスーパーバイザーや支援アドバイザーと検討を重ね、独自に開発してきました。

平成19年度から平成23年度までは学童クラブの巡回支援を行いました。学童クラブ職員のスキルアップのため、そだちあいでは職員研修に力を入れ、今年度はその成果を報告書にまとめ、9月には子ども部、児童館館長対象の報告会を開きました。

今年度は市立、民間保育園、認証保育所の合計41か所で年3回の巡回支援、個別相談、保育士研修を行っています。民間保育園と認証保育所の巡回支援は平成22年度から開始され、3年目になります。市立保育園とは違い、独自の保育方針を持つ民間保育施設においても、そだちあい支援アドバイザーの支援が受け入れられ、最近では園からの相談先の一つとしてそだちあい事務局が定着しつつあるのを感じます。

平成26年度の日野市発達支援センター開設を見込み、平成23年度からそだちあいは健康福祉部発達支援室との協働となりました。日野市発達支援センターでは0歳から18歳までの子どもの発達を保障することを目的としています。そだちあいが、子どもにとって大切なスタート時期である乳幼児期の発達を保育施設の中で支援するという役割を、どのように担っていくかが問われる時期であると考えています。(齊藤晶子)



平成23年度の市立保育園保育士向けの保育士特別研修から



すくすくサポーター・ひとり親事業 ファミサポとの連携で一味加えた支援ができる

育児支援家庭訪問事業通称すくすくサポーターとは、保護者の気持ち不安定で、思うように子育てができない家庭を支援する事業です。その家庭において、子ども家庭支援センターのケースワーカーが作成する支援計画のもと、子どもが安定した環境ですくすく成長していくためにNPO法人からサポーターを派遣し、保護者と一緒に子育てをします。「すくすくサポーター」は、日野市より受託して今年で8年目になります。

ひとり親ホームヘルプサービス事業はその名のとおり、ひとり親家庭にホームヘルパーを派遣し働く保護者に代わり補助的な家事や保育の支援をする活動です。家事援助等の支援で、保護者の自立を目的としている事業です。こちらは6年目を迎え、サポートしてほしい利用者は6年前と比べそれほどの変動はなく、毎月10件以上の依頼が

あります。現在28名の方にヘルパーとしてご登録いただいています。

支援内容は、主に掃除や洗濯、夕食の準備などとその家庭での見守りです。しかし、一人親ホームヘルパーは、保育園や学童などの送迎はできないため、年々ファミリー・サポート・センターと一緒に利用する家庭が増えてきました。提供会員としてお迎えに行っていただき、その後はヘルパーとして家庭で保育をします。同じ人が行うことで子どもも安心感があり信頼関係も深まり負担も少なくなります。支援するヘルパーも昨今の利用者のニーズに応え、大半は提供会員としても登録しています。

今後もファミサポと連携しながら地域で子育てを応援し、親と子が安定した生活が送れるようサポートしていきたいと思います。

(城山ヒデミ)

各事業の紹介

多摩平交流センター指定管理者

自宅の居間のような居心地の良さを提供したい

多摩平交流センターの指定管理者となり4年が過ぎようとしています。多摩平の森ふれあい館総合受付のみを受託していた平成16年から数えると10年めとなり、NPO設立とともに育ってまいりました。

指定管理者となった平成21年からは、各部屋の巡回点検、備品の整備等を市民の方々が利用しやすいよう工夫し、改善しながら行っています。

指定管理を受託した当初は、今までに経験したことのない業務であったため、想定外のことも多々ありましたが、その都度スタッフが話し合い「柔軟できめ細やかな対応」を心がけてまいりました。おかげさまで、交流センター各部屋は随分ときれいになり、利用者の方々にも

きれいに使っていただけるようになりました。修理点検は業者に依頼せず自分たちで行い消耗品の購入も工夫をし、老朽化して使いづらかった椅子やテーブルを新しくすることもできました。また、利用者の方々とのふれあい会議や、アンケートを行い、共に考え、利用する方々の

声を反映する取り組みも行っています。

受付スタッフは固定シフトで、同じ曜日、同じ時間帯に勤務しており、集会室の定期利用者についても熟知しています。

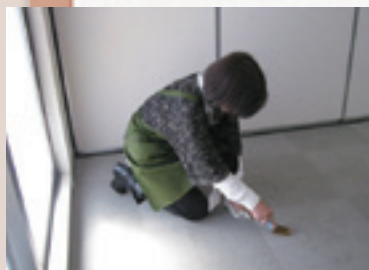
以前、次の様な事がありました。定期的に利用している利用者の方が時間になっても来館されず、不審に思った受付スタッフが、サークルメンバーの方にお知らせしたところ、自宅で倒れていた方を発見し、救急搬送したというものです。このことは受付が単なる受付ではなく地域の見守り役としての役割も担っていることを実感する出来事でした。この経験から、地域の安心安全のための講座も実施しています。

今後は、さらに地域の見守り役として安心・安全を地域に広めるための取り組みを行ってまいります。

(室園理香子)



いつも笑顔の受付はふれあい館のアイドル



毎日朝と昼休み巡回点検

新選組のふるさと歴史館受付業務

新選組のふるさと歴史館を「おもてなしの心」で支える

新選組は幕末日本を象徴する存在として、根強い人気を誇っております。日野市はその新選組のふるさとです。その歴史館があり、当NPO法人では受付業務と事務的の後方支援を行っています。

受付業務は「まずは笑顔でお出迎え！」の気持ちで行っています。開館時間に合わせて準備から後片付けまで。入館券の販売はもちろん売上げ集計までもこなします。また来館者に対して、目的地への行き方やバス停と発着時刻のご案内、幕末隊士の衣装の整理・洗濯・補修や塗り絵の補充など館内の整理整頓、新選組に関する書物やグッズ販売など業務は多様です。

ある真夏の暑い日、新選組の誠Tシャツで受付スタッフがお出迎え。「そのTシャツ良いですね！それください。」と購入して下さったお客様がいらっしゃいました。モデルが良かった(!?)受付スタッフが喜んでおりました。(誠Tシャツを着るのは夏場のみ、普段は白いブラウスで清楚におもてなししております)

時には着付けや写真撮影のお

手伝いもします。お客様はエントランスホールで新選組隊士になりきり写真撮影。受付業務に支障のないようにチョコッとシャッターを押す程度はお手伝い。お客様の「ありがとう」の言葉に幸せを感じます。最近はコスプレ人気もあり着付けや写真撮影のお手伝いに対するお礼のコメントをアンケートに書いて下さる方も大勢おり光栄です。

一年中で一番来館者が多い5月の新選組まつりでは賑やかなため、また来館者の休息の場として、市民サポートセンター日野はいろいろな店舗を出店しています。多摩平の森ふれあい館にあるコミュニティーカフェ・カフェグリーンより陽だまりカフェを出店、おいしいコーヒーで一休みして頂いたり、NPO会員の力作、あんころもちで小腹を落ち着かせて頂いたり、来館者の似顔絵サービスも行っています。ここでもスタッフ全員が笑顔でおもてなしさせていただきました。

おもてなしの「新選組のふるさと歴史館」としてさらに発展しますように、地域社会の活性化の一端を担えるように頑張ります。

(栗澤美弥子)



5月第2週は新選組まつりに楽しく出店

コミュニティカフェ「カフェ グリーン」 開店10年目 地域の皆さんとともに



NPO法人市民サポートセンター日野の自主事業として運営されているコミュニティカフェ「カフェ グリーン」はふれあい館の設立とともに歩んできました。10年目に入るこのカフェの窓から見える景観も様変わりしましたが、変わらず眺めることができるのは、「多摩平の森」に立つ、樹齢も古いケヤキや桜の木々の季節ごとに移ろいゆく姿です。

また、開店当初から変わらずに、フェアトレードで輸入された有機栽培・無農薬の薫り高いコーヒー・紅茶を提供しています。店頭では日野市内及び近隣の障害者自立支援工房で作られている、安心して安全な手作りケーキ・クッキー・パンも販売しています。昨年夏からはもっとおいしいコーヒーを提供できるよう研修を行い、同じフェアトレードのコーヒー豆を仕入れ「挽きたての手淹れコーヒー」を提供しており、お客様には「とても珍しくて、美味しいわ」と大変喜ばれております。



陽だまりカフェが出張します

2年前からは出張の「陽だまりカフェ」を始めました。NPOの地域貢献事業陽だまりプロジェクトの一環です。地域の皆様への感謝の気持ちをこめて、お店では1杯300円のコーヒーを100円で提供しています。



市内児童館・グループホーム・各種お祭り等、多くの皆様に感謝をお返ししてきました。

このような10年を思いながら、カフェグリーンは今後も小さいお子様から高齢者の方々まで多くの皆様に安心して安全なコーヒーや食べものをお届けし、そして優しい笑顔あふれる「カフェグリーン」でありたいとスタッフ一同願っています。

陽だまりカフェへのお申し込みは、ふれあい館3階カフェグリーンへどうぞ。



市内グループホーム食堂で…
入居者の皆さんと「カフェに行った気分」

編集 後記

LINK20号は、NPO法人設立10年目を迎えた記念号としました。2010年は女性事業協会、日野市女性事業協会を経て20年目の節目を迎え、陽だまりプロジェクトを組織し、日野市の市民の暮らしを支えるNPOとしてのボランティア活動を本格的に始めました。

2013年はまさしくNPOの10年目の節目の年です。NPO年表をご覧ください。年表を作成し改めて10年の歩みを振り返ると、ずいぶん多彩な活動を行ってきたことがわかります。今年も受託事業と自主事業の二本を柱に、陽だまりプロジェクト、各種の助成事業を展開する予定です。また、NPOの支援をしてくださる方から10畳ほどのスペースを貸していただけることになり、NPO活動の場として活用できる準備をしています。会員の方々からも使い方のアイデアをいただき、楽しく活動できるスペースといえます。

私も市民サポートセンター日野の一員となって、早や、7年を迎えました。この7年の間、NPOが順調に歩んできたのも理事長、副理事長、理事の方々のご理解ご支援があったこと。また、日野市の行政の方々からのたくさんのご支援をいただきました。市民活動団体連絡会では副会長として様々な団体とお知り合いになり、今後も市民サポートセンター日野が日野市の市民活動の推進役になるよう努力したいと思っています。そして、何よりもNPO会員の方々、ファミサポの提供会員さん、地区サポーター、ふれんどさん、NPO事務局職員の方々のパワーが市民サポートセンター日野の10年を支えてきました。

今後も様々な分野で、地道に楽しい活動を展開していきましょう。よろしくお願いいたします。

事務局長 土屋和子

NPO会員募集

NPO活動を活発化するためにNPOの趣旨に賛同し支援して下さる方を募集しています。ご協力ください。会員の種別と会費は以下のとおりです。同時に寄付も受け付けております。
◆一般会員 1,000円 ◆賛助会員 3,000円 ◆法人会員 30,000円 ◆運営会員 10,000円
入会金(一般会員、運営会員のみ)1,000円 振込は下記の振込番号にてお願いします。
郵便振替番号 00180-0-612689(手数料は会員負担でお願いいたします)

特定非営利活動法人市民サポートセンター日野 10年のあゆみ ～地域と共に支え合い～

年度	特記事項	自主事業・助成事業	受託事業
平成15年度 (2003年)	7月16日 特定非営利活動法人 市民サポートセンター日野 法人設立 理事長:今村久美子 副理事長:早川裕子 理事:下重喜代 笹原武志 根来敬子 監事:宮岸一馬 11月28日 法人格取得	1. ホームページ編集制作事業 (当法人ホームページ) 2. NPO法人リーフレット制作	1. 「新選組フェスタin日野」 日野宿本陣案内管理業務 2. 多摩平公共公益施設管理運営事業
平成16年度 (2004年)	ファミサポ事務局が移転 多摩平の森ふれあい館2F 事務局長1名 (下重喜代) 事務局員 6名 事業スタッフ 12名 日野市交通バリアフリー基本構想策定委員会委員 社会教育委員	1. コミュニティカフェ・カフェグリーン 2. シンポジウム「オンリーワンのキャリアづくり」 3. 環境連続講座/損保ジャパンから補助金 「身近な自然へ繰り出そう (一般向け)」 「さぁ 自然の中へ (子ども向け)」 4. 役に立つおもしろ英会話 (早川副理事長企画) 5. 中央公民館/みんなでつくる環境講座を後援 6. シンポジウム「日野市民から地球市民へ」 ～国連持続可能な開発のための教育の10年に向けて～ (日野市市民活動NPO補助金交付事業)	1. 日野市ファミリー・サポート・センター事業 (子育て 家事一般 妊産婦支援 介護) 2. ふれあい館受付 3. 日野宿本陣受付
平成17年度 (2005年)	コミュニティカフェ・カフェグリーン カウンター延長により売上増加	1.コミュニティカフェ・カフェグリーン 2. 「ムツレ教室リーダー養成講座」 3. 「NPOアクセシビリティ支援プログラム」受賞 4. 講演会「北欧の女性たちのライフスタイルに学ぶ」 5. 講演会「成年後見制度を活用しましょう」 6. プレゼンテーションショー2020年までに日本を変える 7. 「民・学・公IT推進拠点事業パソコンサロン」	1. 日野市ファミリー・サポート・センター事業 (子育て 家事一般 妊産婦支援 介護) 2. ふれあい館受付 3. 新選組のふるさと歴史館受付及び事務補助
平成18年度 (2006年)	下重喜代事務局長退職 土屋和子事務局長就任 ファミサポ会員1000名 ファミサポ地区サポーター活動開始	1. コミュニティカフェ・カフェグリーン 2. 映画上映会「ペアテの贈り物」 3. 民・学・公IT推進拠点事業パソコンサロン 4. みんなで作る環境講座 5. 小島善太郎展受付案内業務	1. 日野市ファミリー・サポート・センター事業 (子育て 家事一般 妊産婦支援 介護) 2. ふれあい館受付 3. 新選組のふるさと歴史館受付及び事務補助 4. 育児支援家庭訪問事業
平成19年度 (2007年)	ファミサポたかはた支所開設 (福祉支援センター1F) 0歳児ステーションおむすび開所 (福祉支援センター1F) そだちあい事務局開所 (日野市役所保育課協) ファミサポ軽自動車使用開始 おむすびブログ開始 おむすび3.4か月健診会場登録会開始	1. コミュニティカフェ・カフェグリーン 2. 0歳児ステーションおむすび親そだち講座 3. 「暮らしに役立つパソコン講座」 ひの市民活動団体連絡会協力事業 4. 第3回郷土資料館祭り 5. 「多摩平団地自治会ホームページの作成」 (日野市市民活動 (NPO) 活動支援補助金交付事業)	1. 日野市ファミリー・サポート・センター事業 (子育て 家事一般 妊産婦支援 介護) 2. ふれあい館受付 3. 新選組のふるさと歴史館受付及び事務補助 4. 育児支援家庭訪問事業 5. 日野市子ども支援事業そだちあい 6. 日野市一時保育0歳児ステーションおむすび
平成20年度 (2008年)	そだちあい相談室開設 (ふれあい館) ファミサポ3.4か月健診会場登録会開始 ユニバーサルデザインまちづくり推進協議会委員 日野市社会福祉協議会評議員	1. コミュニティカフェ・カフェグリーン 2. 0歳児ステーションおむすび親そだち講座 3. ひのっすくすくプラン市民ワーキンググループ参加 4. 市民活動団体 シニアのための携帯電話講習会 5. 新選組祭り出店 6. 伊藤整展受付および管理業務	1. 日野市ファミリー・サポート・センター事業 (子育て 家事一般 妊産婦支援 介護) 2. ふれあい館受付 3. 新選組のふるさと歴史館受付及び事務補助 4. 育児支援家庭訪問事業 5. 日野市子ども支援事業そだちあい 6. 日野市一時保育0歳児ステーションおむすび
平成21年度 (2009年)	NPO軽自動車使用開始 ひのっすくすくプラン後期計画策定委員会委員長 第四期日野市男女平等推進委員会委員	1. コミュニティカフェ・カフェグリーン 2. 0歳児ステーションおむすび親そだち講座 3. ひのママのらくらく子育て応援マップ/子育て応援お店 ガイド” (日野市市民活動 (NPO) 活動支援補助金交付事業) 4. 市民活動団体 シニアのための携帯電話講習会 5. ひの市民活動団体連絡会 シニアのための携帯電話講習会 6. 新選組祭り出店 7. ふれあい便利帳制作 (多摩平交流センター指定管理者自主事業)	1. 日野市ファミリー・サポート・センター事業 (子育て 家事一般 妊産婦支援 介護) 2. ふれあい館受付 3. 新選組のふるさと歴史館受付及び事務補助 4. 育児支援家庭訪問事業 5. 日野市子ども支援事業そだちあい 6. 日野市一時保育0歳児ステーションおむすび 7. 日野市ひとり親ホームヘルプ事業 8. 日野市多摩平交流センター指定管理 9. 日野市発達支援センターシステム構築に関する調査研究事業
平成22年度 (2010年)	発達心理学会発表 (そだちあい)	1. コミュニティカフェ・カフェグリーン 2. 0歳児ステーションおむすび親そだち講座 3. あさひがおかまつり出店 4. おむすびころりん知恵袋の制作発行 (201. 年3月) (日野市市民活動 (NPO) 活動支援補助金交付事業) 5. 陽だまりプロジェクト企画立案 6. あさひがおか祭り 新選組祭り参加	1. 日野市ファミリー・サポート・センター事業 (育児支援業務委託 家事等支援業務) 2. 新選組のふるさと歴史館観光案内等業務委託 3. 育児支援家庭訪問事業 4. 日野市子ども支援事業そだちあい 5. 子ども支援事業そだちあい保育サポート体制強化推進事業 6. 日野市一時保育0歳児ステーションおむすび 7. 日野市ひとり親ホームヘルプ事業 8. 日野市多摩平交流センター指定管理
平成23年度 (2011年)	東日本大震災義援金カフェ実施 ひのっすくすくプラン後期計画推進協議会会長 発達心理学会発表 (そだちあい) 教育心理学会発表 (そだちあい) ファミサポホームページリニューアル	1. コミュニティカフェ・カフェグリーン 2. 男の料理教室 (多摩平交流センター指定管理者自主事業) 3. 陽だまりプロジェクト (市民の暮らしの支援事業) 1. 陽だまりカフェ 2) ふれんどさん養成講座 (日野市市民活動 (NPO) 活動支援補助金交付事業) 3) 高次脳機能障害者と家族の会かしのきひの運営支援 4. 私立わらしこ保育園研修事業 5. あさひがおか祭り 市立病院祭り参加	1. 日野市ファミリー・サポート・センター事業 (育児支援業務 家事等支援業務) 2. 育児家事支援訪問事業 3. 新選組のふるさと歴史館観光案内等業務 4. 福祉支援センター0歳児一時保育事業業務 5. 子ども支援事業「そだちあい」子ども支援事業業務 6. 日野市立多摩平交流センター指定管理 7. 日野市ひとり親家庭ホームヘルプサービス事業
平成24年度 (2012年)	ファミサポ会員 総計 5600名 おむすび登録会員 総計 5837名 (2012年12月現在) 発達心理学会発表 (そだちあい) 第五期日野市男女平等推進委員会副会長 NPO活動スペース新設 ★NPO会員289名 ★理事会 理事長 今村久美子 副理事長 早川裕子 理事 笹原武志 酒井照子 土屋和子 監事 樫村正男 ★事務局体制 事務局長1 事務局員9 事業スタッフ50 外部スタッフ15	1. コミュニティカフェ・カフェグリーン 2. 親子CAP講座 (多摩平交流センター指定管理者自主事業) 3. 「スーパードディ講座」 (日野市市民活動 (NPO) 活動支援補助金交付対象事業) 4. 陽だまりプロジェクト (市民の暮らしの支援事業) 1. 陽だまりカフェ 2) ふれんどさん訪問事業 3) 高次脳機能障害者と家族の会かしのきひの運営支援 5. 私立わらしこ保育園研修事業 6. 新選組祭り 7. 市民活動フェア参加	1. 日野市ファミリー・サポート・センター事業 (育児支援業務 家事等支援業務) 2. 育児家事支援業務 3. 新選組のふるさと歴史館受付及び事務補助 4. 福祉支援センター0歳児一時保育事業業務 5. 子ども支援事業「そだちあい」子ども支援事業業務 6. 日野市立多摩平交流センター指定管理 7. 日野市ひとり親家庭ホームヘルプサービス事業